

東武鉄道杯少年サッカー大会規定

1. エントリー表及びメンバー表の提出ならびにユニフォームの確認について

- (1) 大会開始前までにエントリー表を1部提出する。(提出時期・提出先は、大会運営委員会の計画による)
- (2) 試合開始予定時刻50分前までにメンバー表を3部本部に提出する。
- (3) 試合開始予定時刻40分前に登録された正・副2組のユニフォームを持参して、審判員によるチェックを受ける。(類似色の場合は、話し合い又は主審のトスとする。)
- (4) 全選手は、メンバー表との照合、用具等の確認を試合開始10分前から受ける。

2. 競技規則について

以下の他は、公益財団法人日本サッカー協会競技規則2017/2018による。

- (1) 試合は、8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。試合中、8人未満になり選手の補充ができない場合は、そのまま続行する。但し、6人以上で試合成立とする。
- (2) 退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充する。
- (3) 競技のフィールドは68m×50mを基準とし、ゴールは5m×2.15mとする。使用球は4号公認ボールとする。
- (4) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。
- (5) PK方式においては、両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、決するまで行う。

3. 選手交代について

登録選手内で自由な交代とする。交代の際、主審・第4の審判員の承認を得ることなく、インプレー中・アウトオブプレー中に関わらず、交代ゾーンを使用して行うことができる。但し、ゴールキーパーの交代は、アウトオブプレーのときに主審の承認を得て行うこと。

4. ベンチについて

- (1) ベンチに入れる者は、メンバー登録選手20人と監督・コーチ5名以内とする。
- (2) 組合せの若番号がピッチに向かって左側ベンチ、後番号が右側ベンチとする。
- (3) ベンチからの指示等は、指導者としての自覚を持つこと。(戦術的指示を伝えることができるのは、テクニカルエリア又は準ずるエリア内でその都度1名とする。)
- (4) 退席を命じられた指導者は、次の1試合はベンチに入れない。
- (5) ベンチでの携帯電話・カメラ・ビデオカメラは禁止する。

5. 警告・退場について

退場を命じられた選手は、次の1試合は出場できない。警告を累積2回受けた選手も同様とする。

6. 飲水タイムについては必要に応じて設ける。

7. 審判は全ての試合をチーム帯同の審判員が行う。(4人制審判とし、主審・副審・第4の審判員で行う)

8. その他

- (1) 南部・北部ブロックに幹事を置き、具体的な運営についてブロック内参加チームに周知徹底すること。
- (2) 試合中のグラウンド外でのアップ、ハーフタイム中のグラウンド内での練習及び試合前のグラウンド内での練習は会場責任者の指示に従うこと。
- (3) 指定された場所以外での喫煙は禁止、ゴミは全てチームの責任で持ち帰ること。

9. 要項・規定が守られない場合は大会幹事会で審議する。